



ようやく観光地の人出が戻り始めました。ワクチン接種等を条件とした観光需要喚起策も延長され、対象エリアも全国に緩和されるようです。各地の花火大会や祭りも復活され出しました。外国人の入国制限も緩和されつつあります。混雑のない新幹線や観光地もそれはそれで魅力がありますが、早く世の中の動きが復旧してほしいものです。コロナ以前でも、訪問した季節のためか、その場所に人気がないのか、ほとんど人気（ひとけ）がなく、静かに自分のペースで散策できた史跡や観光地もありました。今回はそのような中から、鹿児島県内のほぼ独り占め“貸し切りの観光地”の写真を紹介します。

上の写真は、薩摩半島最南端の長崎鼻です。すぐ近くには薩摩富士といわれる開聞岳や JR 最南端駅・指宿枕崎線の西大山駅もあります。少し東に行くと、山川砂蒸し温泉（ここは先客1名あり。現在臨時休館中）があり、周辺の砂浜や崖のあちこちに温泉の湯煙が上がっていました。砂蒸し温泉では砂の重みで腕や太腿でも自分の脈動が感じられました。

【龍宮神社と長崎鼻について】

- 1 この龍宮神社は古事記、日本書紀にある豊玉姫（乙姫様）を祀っております。長崎鼻には古くから浦島太郎伝説があり、発祥の地と言われています。古書に「竜宮城八琉球ナリ」と云われ、黒潮浮かぶ遠か南の琉球城を彷彿とさせます。
- 2 この海岸一帯の砂浜には、今もたくさんウミガメが産卵のために上陸します。ウミガメが産卵する場所は、近くに豊かな漁獲があり亀にとってもたくさんの餌があること、また外敵が少なく安全で、孵化した赤ちゃん亀が無事に海に戻れるような、砂浜が広がっていることがあげられます。
- 3 つまり、ウミガメが上陸する海岸は、海の幸を育む豊かな自然があることから、昔から漁師や釣り人は海の守り神として亀を大切にしました。亀が魚網にでもかかれば手厚くもてなし、お酒を振舞い海に帰してあげました。こうしたことから神話伝説ともあいまって、浦島太郎や乙姫様（豊玉姫）を祀って信仰する風習は日本のいたる所にあります。
- 4 長崎鼻の龍宮神社は浦島太郎と乙姫様が出会った縁結びの神様として、また家内安全・商売繁盛・航海安全の守り神として今も多くの人が参拝に訪れます。

山川町 開聞ヶ水
長崎鼻観光土産品店



薩摩富士・開聞岳（924m）



湯煙が上がっている



池田湖 イッシー？



九州最大の湖 中央遠方に開聞岳

さらに北東の山川港は火山噴火でできたマールで、そこから北西方向に、鰻池や池田湖が並んでいます。池田湖は周囲

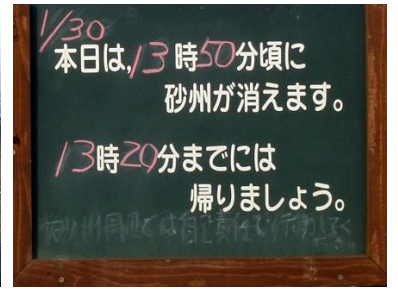
15kmの九州最大の湖です。約5,500年前の火山活動でできたカルデラ湖で、深さは233m、湖底から水面下42mまでの火山が湖水に隠れているそうです。北海道屈斜路湖のクッシーと同様に、池田湖にはイッシーがいると言われています。指宿市指定の天然記念物で体長約2m・胴回り50cm程の大ウナギも生息しているそうで、湖畔の店でも大ウナギを見ることができました。うなぎ生産量は鹿児島県がトップで全国の4割強です。1月末でも菜の花がたくさん咲いていました。

知林ヶ島

田良岬より、約800mの海上に浮かぶ、周囲3km、高さ90mの無人島で、北に320m離れた小島とともに、指宿カルデラ外輪山の一部で泥礫岩よりなり、指宿カルデラのくびれの部分の北端を形成している。錦江湾に浮かぶ二つの島はどこから見ても美しく、昔は老松が茂り、航海者は松風の音をたよりこの島の付近を通ったことから、知林ヶ島の名で伝えられている。

干潮時は、通称「バカ洲」と呼ばれる幅50mの砂のかけ橋となり、陸つづきで渡ることが出来る。

春から秋にかけては、釣り(タイ、キス)で賑わい、潮干狩りに行楽の島として最適である。



指宿市の田良岬の沖800mにある知林ヶ島(錦江湾内最大の島)は、指宿カルデラの外輪山の一部で、干潮時には幅50m程の砂州で繋がります。「渡島は自己責任で」や「緊急時海上タクシーTEL」とか、砂州が消える時刻が毎日更新されているような看板もありましたが、Googleのストリートビュー(2017年更新)では看板自体が無くなっているようです。

山川港から大根占港までフェリーなんきゅうで錦江湾口を横断しました。私の車1台の他、旅客は1家族4人のみでした。錦江湾を出入り(交差)する船影が、操舵席のレーダーに反応が出て、そして朝霧の中から次々と現れては消えました。



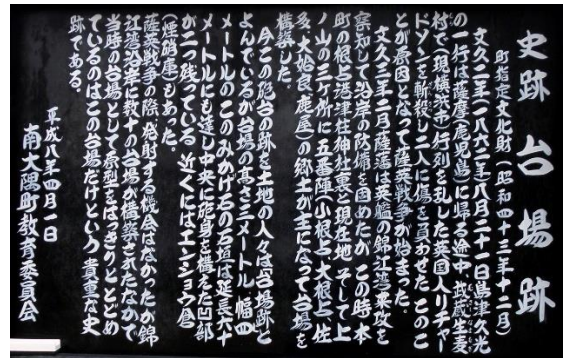
フェリーなんきゅう



レーダーに船影



海上自衛隊輸送艦 おおすみ



南蛮船係留の大きす

町指定文化財(天然記念物)昭和43年12月10日指定

今から約500年前の頃、雄川の河口は、このあたりまで水も深く、天然の良港であった。唐や南蛮、琉球の船が出入りする貿易港で入港した異国船はこのくすにもつなを結び珍奇な交易品を荷上げたと伝えられている。また唐船と南蛮船との間に争いが起こり池端弥次郎重尚がこれを仲直りさせようとして唐人の火矢に当たって戦死したと古い記録に見える。

この頃この附近一帯には唐人町もでき港は繁栄した。この大きすは樹齢約千年を重ね、南大隅町根占の栄枯盛衰の歴史を見守ってきた老木である。大事に保護していこう!!

平成18年2月 南大隅町教育委員会



JAXAの内之浦宇宙空間観測所は、ロケット打上等の危険作業期間以外は自由に見学できます。宇宙科学博物館になっ



JAXA 内之浦宇宙空間観測所



ています。愛称「ロケット桜」のヒカンザクラとカンザクラが、1月末でもほぼ満開でした。

肝属平野の鹿屋市から少し東寄りに、唐仁古墳群・神領古墳群・横瀬古墳・塚崎古墳群等、幾つもの古墳が点在しています。前方後円墳や円墳がたくさん見られました。

肝付町塚崎古墳群の第1号円墳上に、樹齢1300年のクスノキが生えています。県内のクスでは、道草ギャラリーその31で紹介した蒲生のクス、志布志山宮神社の大クスに続く3番目の巨樹で、国指定の天然記念物です。



塚崎のクス
 このクスは塚崎古墳群第一号墳の円墳上に生育して往古より神木とされている。
 樹齢一三〇〇年を経過したものと推定され目通り幹廻り約十四メートル樹高約二十五メートルの巨木である。
 樹勢が盛んで樹上にはオオタニワタリをはじめ多くの植物が着生している。
 クスの木の巨木として有数なもので昭和十五年二月十日国の文化財天然記念物に指定される。
 肝付町教育委員会



蒲生のクス・山宮神社の大クスも含めて、どこもほとんど周辺は無人で、“貸し切り状態の観光地”でした。

Google 地図参照 (写真撮影 2010.01.30~02.01)

- 長崎鼻 <https://www.google.co.jp/maps/@31.1586873,130.5874048,16z>
- 田良岬・知林ヶ島 <https://www.google.co.jp/maps/@31.2704375,130.6714759,15z>
- 台場公園 <https://www.google.co.jp/maps/@31.1739632,130.7620967,18z>
- 南蛮船係留の大くす <https://www.google.co.jp/maps/@31.2157594,130.7687527,19.72z>
- 内之浦宇宙空間観測所 <https://www.google.co.jp/maps/@31.2520924,131.0742388,15z>
- 塚崎古墳群・塚崎のクス <https://www.google.co.jp/maps/@31.3399101,130.969343,16z>
- 宮浦宮 <https://www.google.co.jp/maps/@31.6709551,130.8192801,19z>
- 旧田中家別邸・坂元醸造 <https://www.google.co.jp/maps/@31.6786805,130.817247,17z>

上の URL は、下の「PDF はこちら」に入り、アンダーラインをクリックしてください。 (2022.07.01)